

松下幸之助ウォーク in和歌山
—“経営の神様”とよばれた男の物語がここからはじまる—
**「松下幸之助の原点・出生(明治27年)から
紀ノ川駅の別れ(明治37年)までを訪ねる」を実施**

南海電鉄(社長:遠北 光彦)では、パナソニック株式会社および株式会社PHP研究所のご協力のもと、皆さまに和歌山市への関心をより高めていただけるよう、郷土の偉人である松下幸之助さんをテーマにしたウォーキングイベントを実施します。

明治37年、当時満9歳の幸之助さんは、南海鉄道時代の紀ノ川駅からお母さんのとく枝さんに見送られ、丁稚奉公のため単身大阪へ向かいました。

イベントでは、お母さんと幸之助さんの心中に思いをはせ、幸之助さんゆかりの地を訪ねます。詳細は別紙のとおりです。

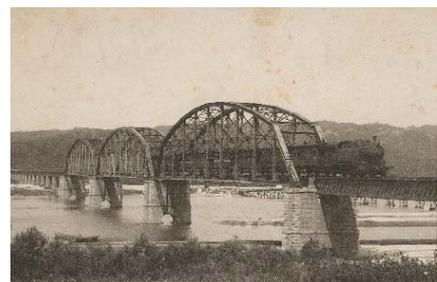
**松下幸之助ウォーク in和歌山 <平成30年3月31日(土)実施>
参加者募集します**

■幸之助の生誕地を訪ねる



■和歌山城・紅松庵を訪ねる

■紀ノ川駅での母との別れまでを歩く



松下幸之助ウォーク in 和歌山

— “経営の神様” とよばれた男の物語がここからはじまる—

松下幸之助の原点・出生（明治27年）から紀ノ川駅の別れ（明治37年）までを訪ねる

1. 日時 平成30年3月31日（土） ※少雨決行
【集合】 9：20 南海・和歌山市駅 改札外
【解散】 15：00 予定 南海・紀ノ川駅 改札外

2. 内容

■幸之助の生誕地を訪ねる ■和歌山城・紅松庵を訪ねる ■紀ノ川駅での母との別れまでを歩く

明治27年、松下幸之助さんは和歌山県海草郡和佐村（現・和歌山市）に生まれ、4歳のころ和歌山市内に移り住みました。

明治37年、幸之助さんは小学校を4年で中退し、南海鉄道（現・南海電気鉄道）紀ノ川駅からお母さんに見送られ、単身大阪へと向かいました。

幸之助さんが住んでいたといわれる所から近いはずの和歌山市駅（明治36年開業）ではなく、なぜわざわざ紀ノ川を渡り、北岸の紀ノ川駅まで行ったのでしょうか。

お母さんと幸之助さん、二人の心中に思いをさせ、幸之助さんゆかりの地を訪ね、最後に紀ノ川駅までを歩きます。

行程

南海和歌山市駅（集合9時20分）→＜電車210円＞→JR和歌山駅経由・JR千旦駅→幸之助の生誕地・幸之助の墓→JR千旦駅→＜電車210円＞→JR和歌山駅→＜バス230円＞→公園前→和歌山城・紅松庵（幸之助寄贈の茶室）・【昼食休憩】→本町一丁目→雄小学校跡→南海和歌山市駅→四筋目→紀ノ川（北島橋）を渡る→紀ノ川駅（解散予定・15時ごろ）

【歩行距離 約7km】

※昼食（弁当）、飲み物等は各自でご用意ください。

※コースは天候・交通機関等の状況により、当日変更させていただく場合があります。

3. 案内人 佐藤 悌二郎 氏

プロフィール

株式会社PHP研究所 専務執行役員 経営理念研究本部担当

昭和31年 新潟県生まれ。昭和55年 慶応義塾大学文学部卒業、PHP研究所入社。

創設者松下幸之助の研究に従事、『松下幸之助発言集』全45巻編纂はじめ著書多数。

4. 参加費 無料 ※ただし、途中移動に伴う交通費は各自負担

5. 募集定員 50人（先着順）

6. 申込期間 平成30年3月7日（水）から29日（木）まで ※定員になり次第締め切ります。

7. お申し込み・お問い合わせ先

南海電気鉄道株式会社 和歌山支社

TEL：073-433-1285（9：00～17：00／土・休日を除く）

8. 主催等 <主催> 南海電気鉄道株式会社 和歌山支社

<後援> 和歌山市

<協力> パナソニック株式会社・株式会社PHP研究所・株式会社ウイング

以上